

2022年1月2日 午前礼拝
「デボーションの勧め」 説教:大木英雄牧師

I ヨハネ 3:16

キリストは、私たちのために、ご自分のいのちをお捨てになりました。それによって私たちに愛がわかったのです。ですから私たちは、兄弟のために、いのちを捨てるべきです。

【説教要約】

堺希望兄弟の伝道師就任式のメッセンジャーとして滝山教会のテイ先生をお招きしました。テイ先生はメッセージで

「今まではクリスチャンを見ないでキリストを見るように教えられてきましたが、世の人にはキリストは見えません。世の人はクリスチャンを見ます。ですからクリスチャンを見ればキリストがわかるような生き方をクリスチャンはしなければなりません。」

私にとっては目からうろこでした。パウロも

Ⅱコリント 3:3, あなたがたが私たちの奉仕によるキリストの手紙であり、墨によってではなく、生ける神の御霊によって書かれ、石の板にではなく、人の心の板に書かれたものであることが明らかだからです。

コリントのクリスチャンは、肉的なクリスチャンとしてよく知られています。パウロはコリントのクリスチャンを励ますために言っているのです。

キリストは1度も手紙を書かれたことはありません。キリストは1人の弟子を3年半かけて訓練しました。

キリストの12弟子の名前はペテロ、アンデレ、ヤコブ、ヨハネ、ピリポ、バルトロマイ、トマス、マタイ、ヤコブ、タダイ、シモン、イスカリオテ・ユダです。どのような弟子だったか。

(1)ペテロ

マタイ 26:31, そのとき、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたはみな、今夜、わたしのゆえにつまずきます。『わたしが羊飼いを打つ。すると、羊の群れは散り散りになる。』と書いてあるからです。」

マタイ 26:32, しかしわたしは、よみがえってから、あなたがたより先に、ガリラヤへ行きます。」

マタイ 26:33, すると、ペテロがイエスに答えて言った。「たとい全部の者があなたのゆえにつまずいても、私は決してつまずきません。」

マタイ 26:34, イエスは彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。今夜、鶏が鳴く前に、あなたは三度、わたしを知らないと言います。」

マタイ 26:35, ペテロは言った。「たとい、ごいっしょに死ななければならぬとしても、私は、あなたを知らないなどと決して申しません。」弟子たちはみなそう言った。

特にマタイ 26:33, すると、ペテロがイエスに答えて言った。「たとい全部の者があなたのゆえにつまずいても、私は決してつまずきません。」とペテロは断言しました。ところがキリストが十字架で殺されることがわかると

マタイ 26:69, ペテロが外の中庭にすわっていると、女中のひとりが来て言った。「あなたも、ガリラヤ人イエスといっしょにいましたね。」

マタイ 26:70, しかし、ペテロはみなの前でそれを打ち消して、「何を言っているのか、私にはわからない。」と断言した。

マタイ 26:71, そして、ペテロが入口まで出て行くと、ほかの女中が、彼を見て、そこにいる人々に言った。「この人はナザレ人イエスといっしょでした。」

マタイ 26:72, それで、ペテロは、またもそれを打ち消し、誓って、「そんな人は知らない。」と断言した。

マタイ 26:73, しばらくすると、そのあたりに立っている人々がペテロに近寄って来て、「確かに、あなたもあの仲間だ。ことばのなまりではっきりわかる。」と断言した。

マタイ 26:74, すると彼は、「そんな人は知らない。」と言って、のろいをかけて誓い始めた。するとすぐに、鶏が鳴いた。

マタイ 26:75, そこでペテロは、「鶏が鳴く前に三度、あなたは、わたしを知らないと言います。」とイエスの言われたあのことばを思い出した。そうして、彼は出て行って、激しく泣いた。

このようにキリストのことを知らないといふ3回も否定しました。キリストはペテロのような人を弟子に選ばれました。

ヨハネ 21:15, 彼らが食事を済ませたとき、イエスはシモン・ペテロに言われた。「ヨハネの子シモン。あなたは、この人たち以上に、わたしを愛しますか。」ペテロはイエスに言った。「はい。主よ。私があなたを愛することは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの小羊を飼いなさい。」

ヨハネ 21:16, イエスは再び彼に言われた。「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛しますか。」ペテロはイエスに言った。「はい。主よ。私があなたを愛することは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を牧しなさい。」

ヨハネ 21:17, イエスは三度ペテロに言われた。「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛しますか。」ペテロは、イエスが三度「あなたはわたしを愛しますか。」と言われたので、心を痛めてイエスに言った。「主よ。あなたはいつさいのことをご存じです。あなたは、私があなたを愛することを覚えておいでになります。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」

『エデンの東』という映画を見ました。お父さんは兄息子に愛されて、弟息子は愛されていませんでした。弟はお父さんから愛されたくて色々事業をしますが、ことごとく失敗して、よけいお父さんから愛されなくなりました。

しばらくしてお父さんが不治の病にかかるのです。お兄さんのお嫁さんが出来た人でお父さんをお願いするのです。お父さんに「お父さんの看病を弟にお願いしてほしい」と頼むのです。お父さんは弟を愛していないので、弟には看病してほしくないのです。

しかし兄嫁はお父さんに、「このままお父さんが亡くなったら、弟さんはお父さんに愛されなかったことで、これから一生さみしく生きていくことになりますよ。」と説得されて、お父さんはしづしづ弟息子にお父さんの看病を任せるのです。弟はお父さんから赦されたことをとても喜んでお父さんの看病をしました。

これと同じようにペテロはイエス様から赦されたのです。ペテロはペンテコステで聖霊に満たされて1回のメッセージで3000人がバプテスマを受けるのです。

(2)ヤコブとヨハネ(短気で自己中心)

マルコ 3:17, ゼベダイの子ヤコブとヤコブの兄弟ヨハネ、このふたりにはボアネルゲ、すなわち、雷の子という名をつけられた。

ヤコブとヨハネは、イエス様からボアネルゲ「雷の子」というニックネームを付けられました。ものすごく短気な人です。

ルカ 9:53, しかし、イエスは御顔をエルサレムに向けて進んでおられたので、サマリヤ人はイエスを受け入れなかった。

ルカ 9:54, 弟子のヤコブとヨハネが、これを見て言った。「主よ。私たちが天から火を呼び下して、彼らを焼き滅ぼしましょうか。」

ルカ 9:55, しかし、イエスは振り向いて、彼らを戒められた。

サマリヤ人が、イエス様のことを受け入れなかったので、カッとなってサマリヤ人を焼き殺そうとした人です。イエス様はこのように短気な人を選ばれたのです。

ヨハネ 13:23, 弟子のひとりで、イエスが愛しておられた者が、イエスの右側で席に着いていた。

現在、インドネシアに宣教に行っている田村先生は、イエス様を信じた時はすごく短気で怒ると教会の椅子を足でけて壊していました。しかしイエス様は田村先生を宣教師に選ばれました。

(3)ピリポ(頭はいいが信仰的な人ではありません)

ヨハネ 6:5, イエスは目を上げて、大ぜいの人の群れがご自分のほうに来るのを見て、ピリポに言われた。「どこからパンを買って来て、この人々に食べさせようか。」

ヨハネ 6:6, もっとも、イエスは、ピリポをためしてこう言われたのであった。イエスは、ご自分では、しようとしていることを知っておられたからである。

ヨハネ 6:7, ピリポはイエスに答えた。「めいめいが少しずつ取るにしても、二百デナリの

パンでは足りません。』

ピリポは、数学の得意な人です。男 5000 人、女 5000 人、子供 1 万人、合計 2 万人、1 人のお弁当代が 100 円として 200 万円ですとすぐ計算できる人です。

ピリポは計算してイエス様に「めいめいが少しずつとるにしても 200 デナリ（1 デナリ 1 万円、200 万円）のパンでは足りません。」

ピリポはイエス様に「イエス様、私たちは 200 万円のお金は持っていません。200 万円持っても 200 万円分のパンを売っているパン屋さんはこの辺にはありません。イエス様、パンを買ってきて 2 万人の人々に食べさせるのは無理です。」と言っているのです。

私は、数学が得意です。すぐ計算できます。そして「イエス様、無理です」という人です。イエス様はピリポのような人を選びました。

(4) マタイと熱心党员シモン

マタイは、ローマ政府に勤め、同胞のユダヤ人から税金を取り立てている人です。ユダヤ人からひどく憎まれていました。しかし、この仕事はとても金になるのです。他方、熱心党员シモンは、ローマと戦ってローマの植民地からユダヤを解放したいと思っている人です。

ローマ政府の味方をして金儲けをしようとしているマタイと、ローマ政府と戦ってユダヤを解放しようとしているシモンが、同じ教会にいて仲良くやっているといますか。イエス様は、こん仲の悪いマタイとシモンをご自分の弟子となさいました。

イエス様は、マタイに「マタイによる福音書」を書くように命じられました。

(5) イスカリオテ・ユダ

イスカリオテ・ユダは、イエス様を裏切ったのです。イエス様は、イスカリオテ・ユダを選びました。ウガンダに宣教に行かれた佐藤先生は、献身した弟子に詐欺で訴えられました。佐藤先生は、祈って詐欺から守られました。

私は、イエス様が 3 年半かけてどのように弟子を訓練されたかを学ぶことによって、私たちもイエス様から訓練を受けることが出来ると信じています。その方法はデボーションです。

【説教: 大木英雄牧師】